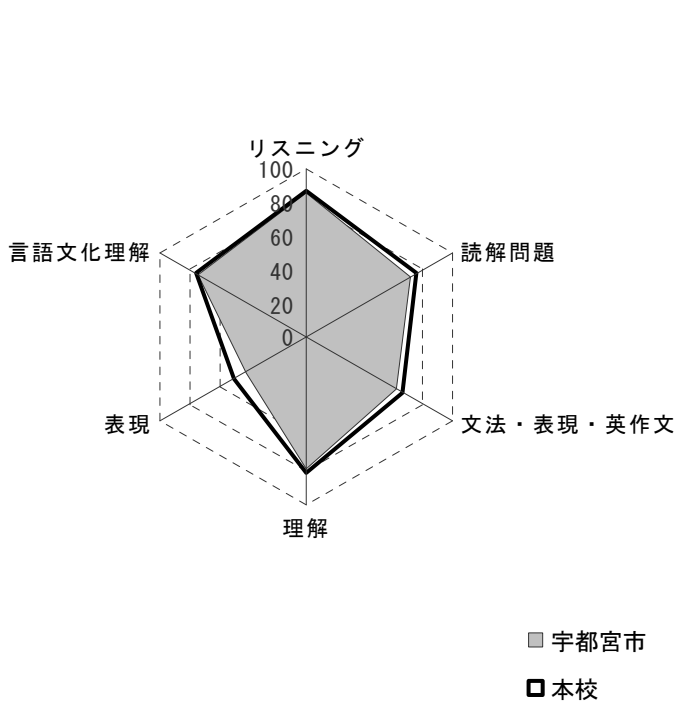


2 学年英語

1 結果

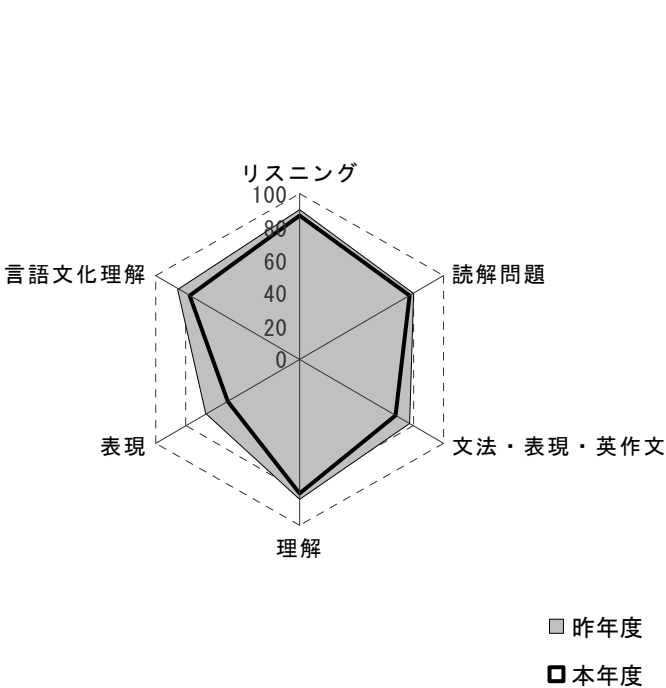
(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	86.0	86.4
	読解問題	71.8	75.8
	文法・表現・英作文	62.4	66.8
観点別	理解	78.2	80.6
	表現	41.5	49.5
	言語文化理解	74.4	76.7

受検人数	宇都宮市	本校
	3983 人	198 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と平成18年度の状況）



		本年度	昨年度
領域別	リスニング	86.4	90.7
	読解問題	75.8	79.1
	文法・表現・英作文	66.8	77.3
観点別	理解	80.6	84.4
	表現	49.5	64.5
	言語文化理解	76.7	84.7

受検人数	本年度	昨年度
	198 人	190 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善（2年英語）

領域 (平均正答率)	平成19年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (86.4%)	宇都宮市及び昨年度のデータと比較して、リスニングの分野に関しては、あまり変化が見られなかった。	継続して、英語を聞かせる時間を豊富に持たせていきたい。
読解問題 (75.8%)	宇都宮市及び昨年度のデータと比較して、内容把握の分野に関しては、長文の内容把握に関しては昨年度よりも上回っているものの、対話文の内容は悪に関して下回っている。	対話文の内容把握に関しても、教科書中の対話文の教材などをさらに活用し、対話文の内容把握の向上に努めていきたい。
文法・表現 英作文 (66.8%)	宇都宮市及び昨年度のデータと比較して、表現の分野に関しては、昨年度に比べ特に英作文が下回っている。	今後は英文を書かせる練習の時間を多く授業に取り入れ作文力の向上に努めていきたい。